



# 教会報ほんじよ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2 TEL : 03-3623-6753 FAX : 03-5610-1732  
http://www.catholic-honjyo-church.org

## INDEX

- 「霜寒」  
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- 「共同墓参」 「七五三の祝福」
- その他



### 「霜寒」

主任司祭 パウロ 豊島 治

十二月のご挨拶を申し上げます

待降節に入り、祭壇も紫の典礼色に彩られ、外観は節電を意識したイルミネーションです。あとは私たち内面の準備です。与えられた四週間を心して過ごしてまいりましょう。

先月の十一月は死者の月でしたので、十二月は「いのち」を意識する月です。いのちの危機はいつの時代も叫ばれますが、国際カリタスの項目でも現在七か所あります。日本の事務局は「ガザ地区」援助の受付を開始しました。教会では振込用紙を用意しています。直接ネット送金も可能です。

ガザ地区は日本の福岡市と同じくらいの面積です。福岡市は人口百万人ですがガザ地区は二百二十万人が閉じ込められているのです。「天井のない監獄」といわれています。片方は海に、片方は造られた壁に挟まれてしまい、燃料をはじめ援助物資に頼らざるを得ない時を過ごしています。それも妨害されたり、行き渡らなかつたりしているとの報道があります。

複雑な歴史構造を持つ地域です。さかのぼれば旧約聖書の記述にも行きつきます。

直近で見ますと、現在のイスラエルができたのは一九四七年。そこで、パレスチナ人は追い出され四度にわたる中東戦争となりました。一番大きい自治権をもつガザ地区パレスチナ人の抵抗が続くなか、一九九三年平和が訪れる瞬間がありました。ノルウエーの仲介で行われた共存のためオスロ合意です。当時のイスラエル、ラビン首相とパレスチナ解放機構のアラファト議長が同じ演壇に立ち「今は戦いの時ではない平和の時だ」というメッセージをラビン首相は世に示しました。テレビで見ていた教会の神父様は「旧約聖書コヘレトの言葉を引用したのではないか」と教えてくださいました。複数国の介入で何回も約束を反故にされて話し合いの筋道さえ見出すのが困難なこの地において合意を維持するためには神のことが必要と感じたのではないかとこの地です。それだけ単純には解決できないのでしよう。実際一九九五年壇にラビン首相は暗殺され、二〇〇六年にイスラエルはパレスチナの地を攻撃し事実上合意は崩壊しました。

「天井のない監獄」が世に言われる地獄とならないように願います。

占領―反発―報復という憎しみの連鎖をとめることができるように教皇さまは聖家族の像に向けて祈りを捧げました。私たちもこの祈りに加わるよう呼びかけられています。

この待降節に視点をどう据えるかで、降誕福音の中で読まれる「飼葉おけ」に意味するものがわかるのです。

難民となって居場所を求めやっと思つた休む場が「飼葉おけ」に見える人もいます。

さまざま理由で体に痛みを感じながら過ごさなければいけない干し草の寝床として「飼葉おけ」をみる人もいるかもしれません。

今起こっていることと聖書のことばに敏感になって大切に過ごしましょう。誕生を光として祝うことができますように。



司祭団による「婦天された司祭のためのミサ」が11月27日にありました